

# どろんこ

2024年9月5日(木)

694号

船橋市職労福祉支部

発行責任者 村上はつみ



# 自治労連保育部会 定期総会

8月24日(土)つくば国際会議場において、自治労連保育部会第37回定期総会が開催されました。国や保育をめぐる情勢を元に、運動の方針を決定し、各地の状況の報告がありました。

## 保育をめぐる情勢

○ 保護者の忙しさを緩和するためのサブスクリプション

大都市を中心に、紙おむつの定額使い放題を実施する事業者の参入が進んでいます。他にも、「手ぶら登園」をうたい、紙エプロン・手口ふき・使い捨てコップカバーをオプションで提供しているところもあるようです。保育園にとっては、全員同じでない限り、園児ごとの管理となり煩雑さは減少しません。

○ 保育者の業務を軽減するため  
の保育ICT化

船橋でも「コドモン」が導入されましたが、ベネッセコーポレーションと共同開発した「保育ドキュメンテーション」の他、「午睡見守り」「卒園アルバム制作」「給食・献立・食材」など企業と連携して様々な業務に進出しています。

ICT企業は、十分な説明や同意手続きを経ずに、子どもの膨大なデータを収集し、AIによる予測提案機能などに活用されています。保育指導案の提案の検討などにも使われています。

○ ICTタグ、監視カメラ、見守りAI

広島では保育中の子どもが、行方不明後近くの川で溺死した事件を受けて、安全対策としてICTタグを試験導入しています。ICTタグは位置情報を発信する端末で登園後服に装着しているそうです。世田谷区や足立区では監視カメラの導入で、窒息やSIDS

リスクのある子のうつぶせ寝を防ぐ為、睡眠中の見守りにAIを活用し、うつぶせ寝が50〜60秒続くとアラームが鳴るようになっていっているそうです。

○ 不適切保育の問題



「昼寝をしない子におやつをあげない」「子どもの髪の毛を引っ張る」「カッターナイフで切りつけた」など逮捕されるような不適切保育や虐待が繰り返されています。原因として多く取り上げられるのは「ストレス」で、その要因も様々ですが、「保育時間が長い」「慢性的な人手不足で仕事量が多い」「賃金が少ない」等劣悪な労働条件や「いきすぎた指導方針」「保育者のスキルの低さ」等も挙げられています。この状況を作っているのは、国や自治体、保育の市場化を進め、企業参入や規制緩和、公立保育園の民営化など進めた結果ではないかと思えます。

## 国・自治体の動向

### 〇「子ども・子育て支援法」の一部を改正する法案

「子ども未来戦略」案が閣議決定されました。児童手当の拡充を柱に3.6兆円規模の財源が必要ですが、すでにある予算や医療・介護分野の歳出抑制、新たな「子ども・子育て支援金」で、個人が納める社会保険に上乘せして500円〜1000円程度負担するようになるとされています。

①「幼児教育・保育の質の向上」76年ぶりの配置基準改善と更なる処遇改善」で、4.5歳児25:1、3歳児15:1となりましたが、「当分の間は従前の基準で運営する事をさまたげない」とし、しない事での罰則等はありません。

公立保育園は、財政的には、全額市町村負担だが、「職員配置の改善にかかる経費も含め、地方負担分について普通交付税措置を講じる」と明示されています。

②「子ども誰でも通園制度」は、

『孤立した育児』の中で不安や悩みを抱えている保護者への支援の強化が求められています。『孤立した育児』が虐待に繋がるが多かったため、多様な働き方やライフスタイルに関わらない形での支援を強化」するために創設されました。

#### 〈実施方法〉

- ・在園児と合同―保育園の定員外
- ・専用室独立実施型―在園児と別の専用スペースで保育
- ・余裕活用型―保育園の定数内で在園児と合同

#### 〈対象〉

0歳6ヶ月〜2歳、月10時間まで

### ③「子どもまんなか実行計画 2024」

「医療的ケア児保育支援事業の実施」として、保育園で受け入れが可能になるよう体制を整備して、地域生活支援の向上を図る。また、医療的ケアに関する技能・経験を有する保育士や看護師を配置する。喀痰吸引等の研修の受講等を推奨する他、受け入れに関するガイドラインの策定をし、安定・継続

的支援体制を整える。

## 各地の状況から

### 「声を上げれば変えられる！」

#### 〈大阪〉

保育園の開所と勤務時間が同じなため、開所前に換気・タブレットのセット・着替え等している。夜は、閉所より勤務時間が15分遅くずれている。それとの整合性から、4月より朝の勤務時間が15分

早くなり、3月までは超勤がついた。

#### 〈松戸〉

子ども誰でも通園制度の試行をしている。担当保育士は、常勤1名と会計年度任用職員2名で行っているが、面接やお金の預かり・書類のやりとり等全て常勤がするため、1人では大変である。

クラス吸収型の園では、担任の他、事業担当保育士も補充して保育に関わっている。職員体制が厳しいと、事業担当者他クラスの応援に入り担任のみで保育する事もあり大変。子どもがいないとフリーとして動けるところは助かる。



<保育園のある日>